



工事現場の労働災害ゼロを目指して！

～工事安全対策協議会小国支部7月安全パトロールを実施～

飯豊山系砂防事務所では管内で発注されている工事の労働災害等を未然に防止することを目的として、工事安全対策協議会を設置しています。

小国支部では安全パトロールを毎月1回実施していますが、平成29年7月28日(金)に第2回安全パトロールを3現場で、受注者発注者合わせて11名で実施しました。

◆現地点検状況

- ・足水川上流砂防堰堤その2工事
- ・入山砂防堰堤補強対策工事
- ・裏堀沢砂防堰堤他工事

◆現地安全点検

安全パトロールでは、参加者全員で施工中の工事の危険ポイントを確認すると共に、意見が出された現場については検討を行い、良い事例は他の工事現場でも積極的に取り入れることとしています。

安全点検状況		
浮き輪及びライフジャケット着用状況！	注意・危険水位のわかりやすい表示を！	温度計に直射日光、位置再検討！
 <p>水際の作業を行う作業員はライフジャケット着用</p>	 <p>危険水位などが不明 わかりやすくブロック等に明記を</p>	 <p>直射日光があたる</p>
クランプが剥き出し！	避難場所・避難経路の再検討！	熱中症対策・検知器は作業箇所の近くに！
		

◆現地点検結果の報告

安全パトロール終了後、参加者から出された主な意見は以下のとおりです。

良い事例

- ・熱中症対策の充実や、水際での作業の際にライフジャケット・浮き輪等が用意・使用されているのが確認出来た。

確認事項

- ・避難経路は施工の進捗に応じて、経路や避難方法も変更されるため、随時見直しを行う。
- ・歩行用通路の安全が確保されているか。重機と作業通路の分離がされているか、足場や防護柵などの不備が無いかを再点検。

・大雨により各地で被害が発生しています。土石流や出水に対する対策・法面の点検など各現場とも再度現場内を再確認する。
 ・これから夏本番であり熱中症対策等をしっかり行い・無事故・無災害で工事が完了できるよう、安全第一に努めていきます。